

様式第二十二(第五十八条第五項関係)

要措置区域台帳

栃木県

整理番号	令-3-4	指定年月日・指定番号	令和4(2022)年3月4日 要-24	所在地	下野市下坪山字栄1724番の一部	
調製・訂正年月日	令和4(2022)年3月4日(区域の指定及び台帳の調製) 令和4(2022)年7月12日(区域の指定の解除及び指定台帳の消除並びに解除台帳の調製)					
要措置区域の概況	事業場	面積	400 m ²			
地下水汚染の有無(土壌溶出量基準不適合の場合)	有 ・ (無)					
法第14条第3項の規定に基づき指定された要措置区域にあつては、その旨	-					
最大形質変更深さより1メートルを超える深さの位置について試料採取等の対象としなかった土壌汚染状況調査の結果により指定された要措置区域にあつては、その旨、当該試料採取等の対象としなかった深さの位置及び特定有害物質の種類	-					
土壌汚染のおそれの把握等、試料採取等を行う区画の選定等又は試料採取等を省略した土壌汚染状況調査の結果により指定された要措置区域にあつては、その旨及び当該省略の理由	-					
要措置区域内の土壌の汚染状態	報告受理年月日	指定に係る特定有害物質の種類		適合しない基準項目		指定調査機関の名称
	令和3(2021)年 12月24日	ふっ素及びその化合物		含有量基準・(溶出量基準)・第二溶出量基準		鹿島建設(株)
土地の形質の変更の実施状況	届出(着手)時期	完了時期	土地の形質の変更の種類	実施者	土壌搬出	汚染土壌の処理方法
	令和4(2022)年 3月4日届出 令和4(2022)年 4月4日着手	令和4(2022)年 5月25日	掘削除去	(株)フィールド・ パートナーズ	(有) 無	分別等処理 (異物除去、含水率調整)

備考1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

備考2 「要措置区域内の土壌の汚染状態」については、土壌その他の試料の採取を行った日、当該試料の測定の結果等を記載した書類を添付すること。

1 調査概要

1.1 調査目的

本調査は、調査対象地（形質変更範囲）における土地利用履歴を確認し、土壌汚染のおそれの区分の分類を行うことを目的とした。

1.2 調査対象地

対象地	(住居表示) 栃木県下野市下坪山 1724		
	(地番) 栃木県下野市下坪山字栄 1724		
現況			
調査対象面積	10,104.60 m ² (提供資料)	敷地面積	78,889.04 m ² (公簿)



位置図

(出典：国土地理院 WEB サイト <https://maps.gsi.go.jp/>)

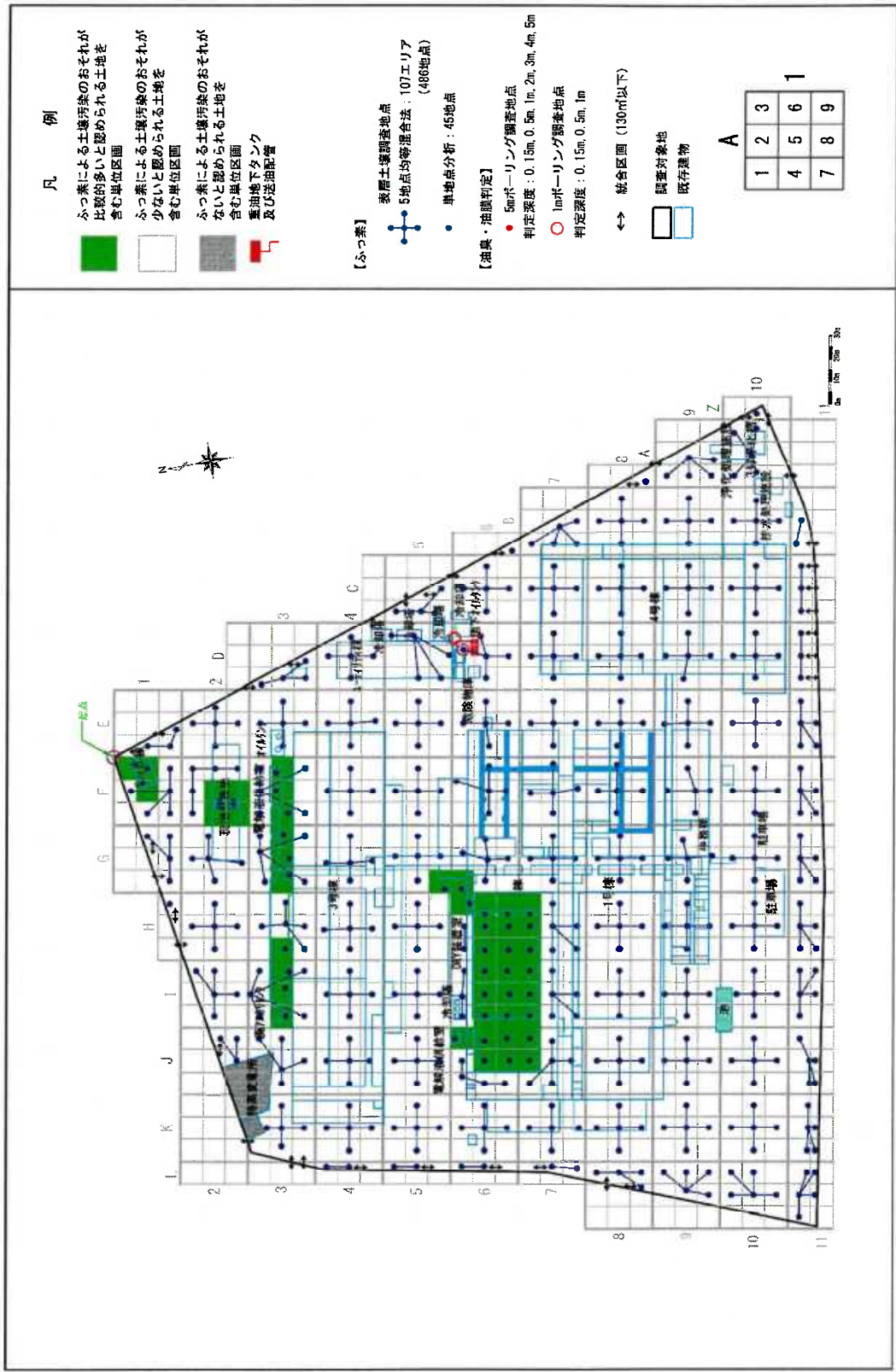


図-8 表層土壌調査地点図

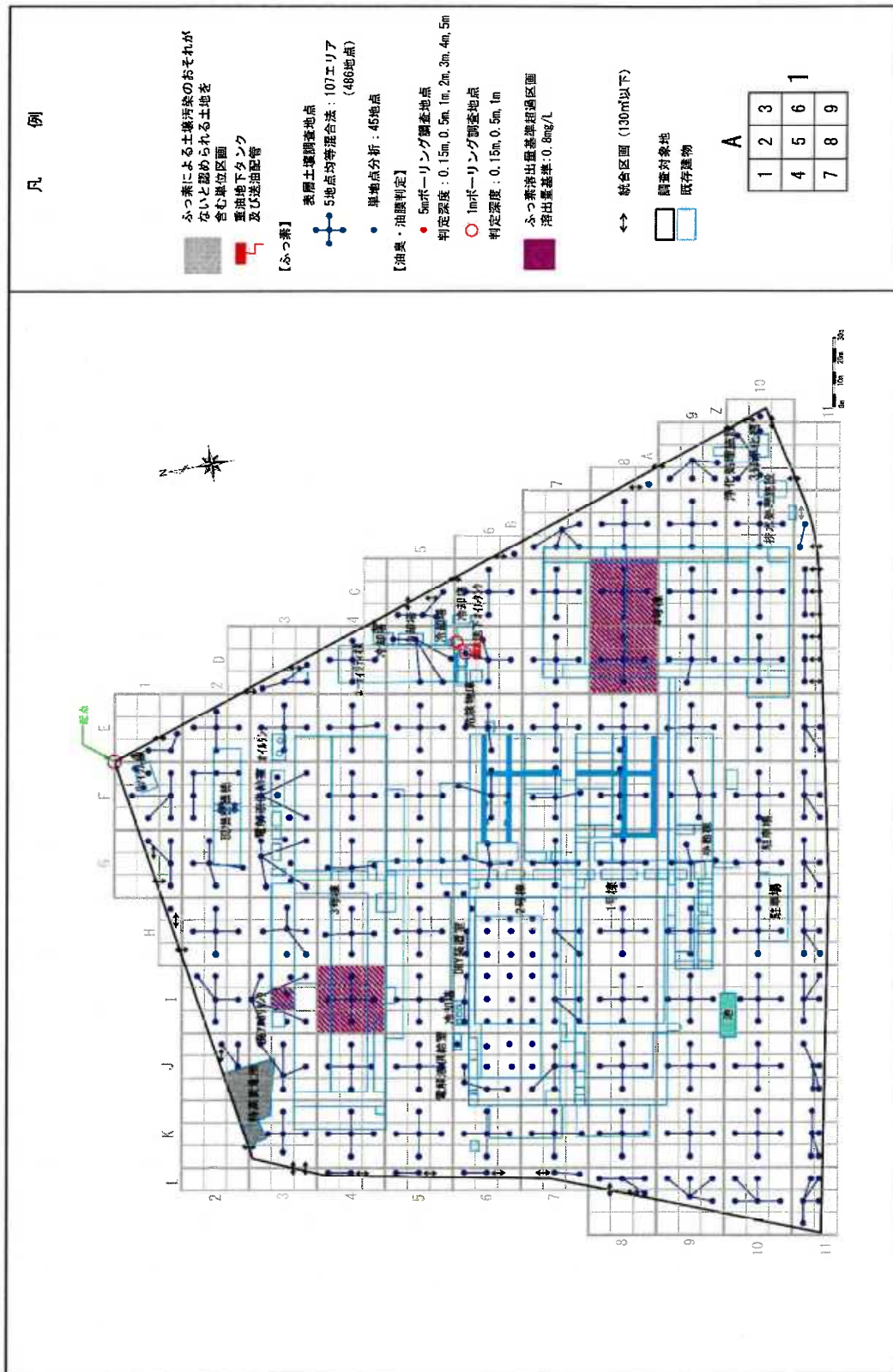


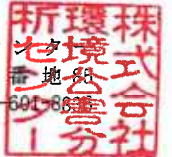
図-9 表層土壌調査結果図

計 量 証 明 書

発行年月日 平成27年1月23日



登録番号 第26021号
 名称 株式会社 環境公害分析センター
 住所 栃木県宇都宮市問屋町3172番地88
 電話・Fax TEL 028-601-8835 FAX 028-601-8835
 計量管理者 環境計量士



濃度に係る計量結果を次のとおり証明します。

件名	貴社栃木事業所敷地における土壌汚染概況調査
採取場所	栃木県下野市下坪山字栄1724番
試料種	土壌
採取年月日	平成26年11月28日～12月10日、平成27年1月13日
試料採取者	株式会社 フィールド・パートナーズ

溶出量試験:環境省告示第18号

(単位:mg/L)

計量の対象	ふっ素及びその化合物								
基準値	0.8								
定量下限値	0.08								
採取地点	測定結果								
I4-1	0.17								
I4-2	0.35								
I4-3	0.08								
I4-4	1.6								
I4-5	4.0								
I4-6	0.25								
I4-7	0.23								
I4-8	1.7								
I4-9	0.18								

計 量 の 方 法	
ふっ素及びその化合物	JIS K0102 34.4

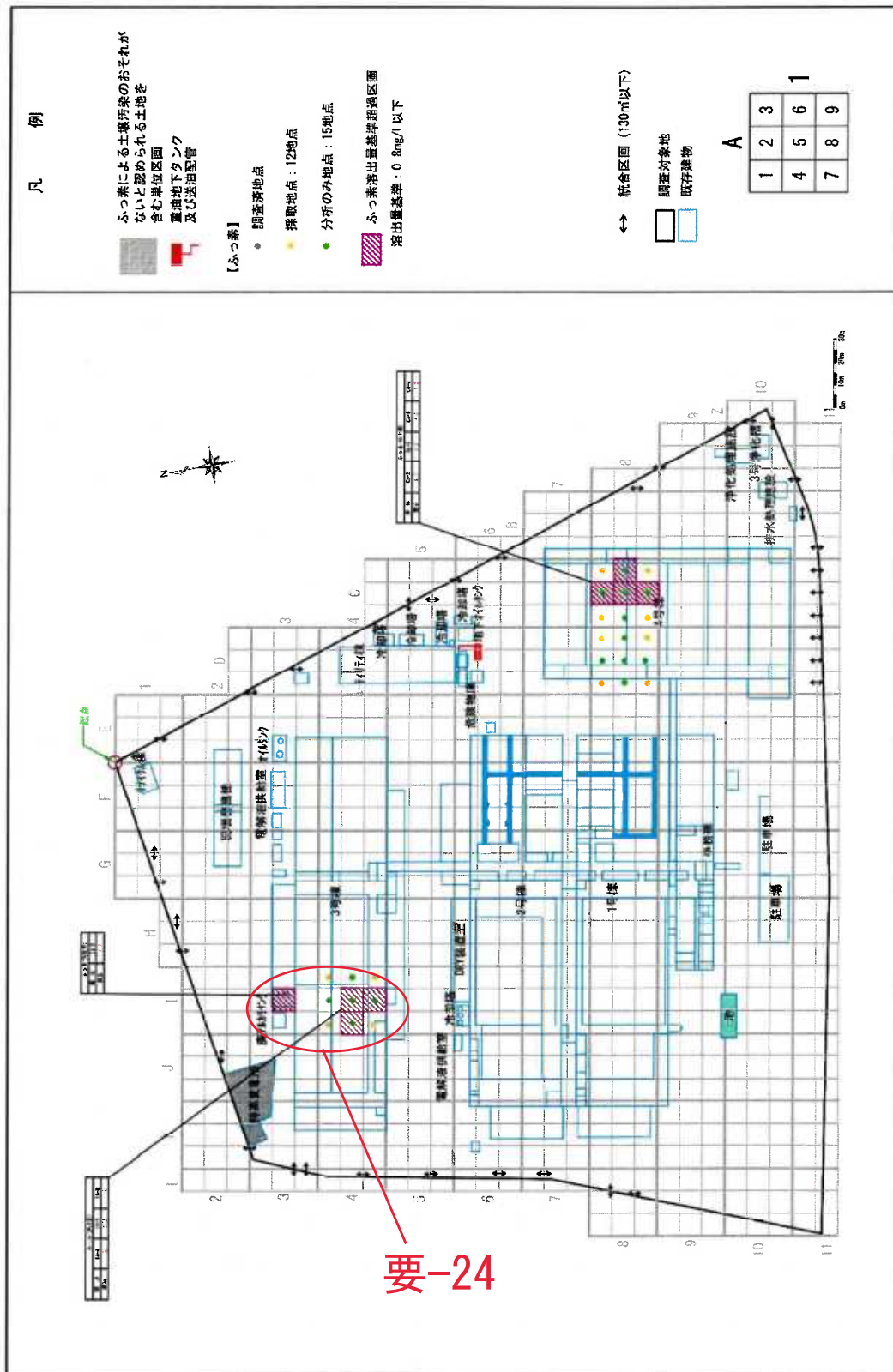


図-10 表層土壌調査結果図 (個別調査)

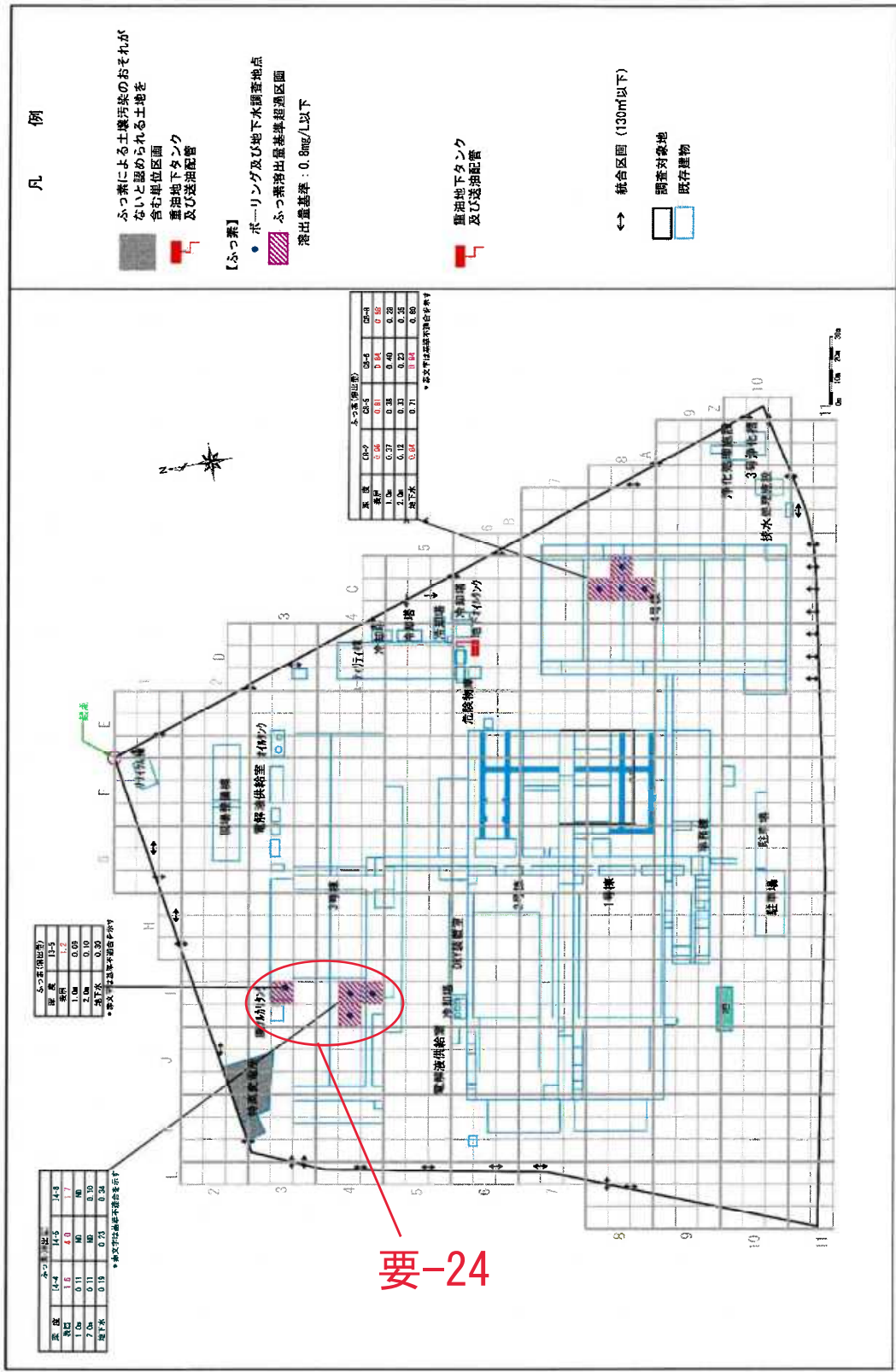


図-11 深度調査結果図

発行番号

No.15021758O

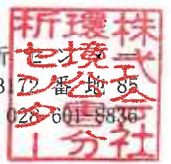
計 量 証 明 書

発行年月日

平成27年2月18日



登録番号 第26021号
 名称 株式会社 環境公害分析
 住所 栃木県宇都宮市問屋町372番地85
 電話・FAX TEL 028-601-8835 FAX 028-601-8836
 計量管理者



濃度に係る計量結果を次のとおり証明します。

件名	貴社栃木事業所敷地における土壌汚染詳細調査
採取場所	栃木県下野市下坪山字栄1724番
試料種	土壌
採取年月日	平成27年2月4日～7日
試料採取者	株式会社 フィールド・パートナーズ

溶出量試験:環境省告示第18号

(単位:mg/L)

計量の対象	ふっ素及びその化合物								
基準値	0.8								
定量下限値	0.08								
採取地点	採取深度	測定結果							
I3-5	1.0m	0.09							
	2.0m	0.10							

計 量 の 方 法

ふっ素及びその化合物	JIS K0102 34.4
------------	----------------

発行番号

No.15021759O

計 量 証 明 書

発行年月日

平成27年2月18日



登録番号 第26021号

名称 株式会社 環境公害分析

住所 栃木県宇都宮市問屋町3172番地85

電話・FAX TEL 028-601-8835 FAX 028-601-8836

計量管理者



濃度に係る計量結果を次のとおり証明します。

件名	貴社栃木事業所敷地における土壌汚染詳細調査
採取場所	栃木県下野市下坪山字栄1724番
試料種	土壌
採取年月日	平成27年2月4日～7日
試料採取者	株式会社 フィールド・パートナーズ

溶出量試験:環境省告示第18号

(単位:mg/L)

計量の対象	ふっ素及びその化合物								
基準値	0.8								
定量下限値	0.08								
採取地点	採取深度	測定結果							
I4-4	1.0m	0.11							
	2.0m	0.11							

計 量 の 方 法

ふっ素及びその化合物	JIS K0102 34.4
------------	----------------

発行番号

No.15021760O

計 量 証 明 書

発行年月日

平成27年2月18日



登録番号 第26021号
 名称 株式会社 環境公害分析
 住所 栃木県宇都宮市間屋町312番地85
 電話・FAX TEL 028-601-8835 FAX 028-601-8836
 計量管理者



濃度に係る計量結果を次のとおり証明します。

件名	貴社栃木事業所敷地における土壌汚染詳細調査
採取場所	栃木県下野市下坪山字栄1724番
試料種	土壌
採取年月日	平成27年2月4日～7日
試料採取者	株式会社 フィールド・パートナーズ

溶出量試験:環境省告示第18号

(単位:mg/L)

計量の対象	ふっ素及びその化合物								
基準値	0.8								
定量下限値	0.08								
採取地点	採取深度	測定結果							
I4-5	1.0m	0.08未満							
	2.0m	0.08未満							

計 量 の 方 法	
ふっ素及びその化合物	JIS K0102 34.4

発行番号

No.150217610

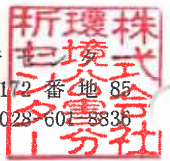
計 量 証 明 書

発行年月日

平成27年2月18日



登録番号 第26021号
 名称 株式会社 環境公害分析
 住所 栃木県宇都宮市問屋町3172番地85
 電話・FAX TEL 028-601-8835 FAX 028-601-8836
 計量管理者



濃度に係る計量結果を次のとおり証明します。

件名	貴社栃木事業所敷地における土壌汚染詳細調査
採取場所	栃木県下野市下坪山字栄1724番
試料種	土壌
採取年月日	平成27年2月4日～7日
試料採取者	株式会社 フィールド・パートナーズ

溶出量試験：環境省告示第18号

(単位:mg/L)

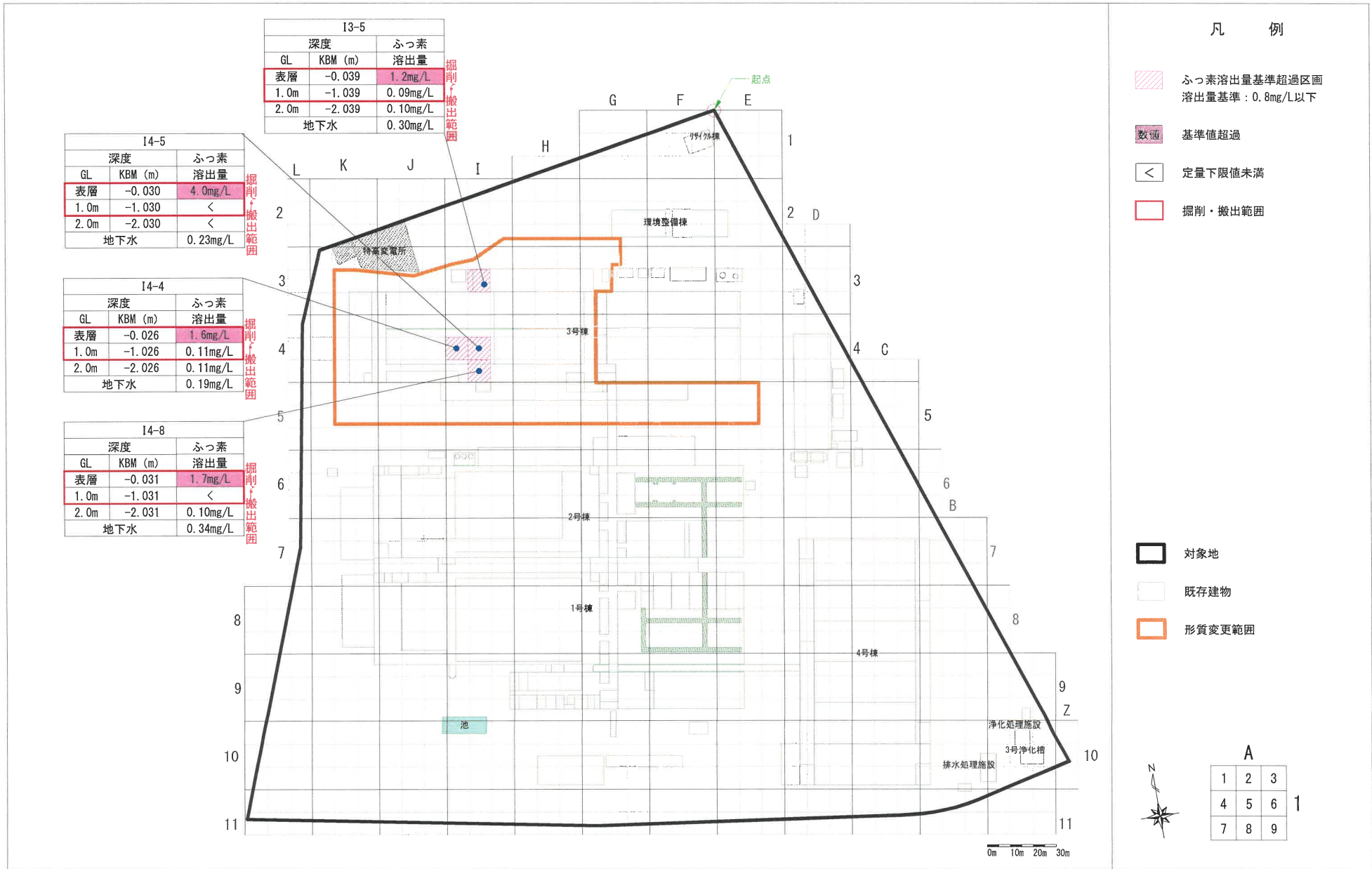
計量の対象	ふっ素及びその化合物								
基準値	0.8								
定量下限値	0.08								
採取地点	採取深度	測定結果							
I4-8	1.0m	0.08未満							
	2.0m	0.10							

計 量 の 方 法

ふっ素及びその化合物	JIS K0102 34.4
------------	----------------

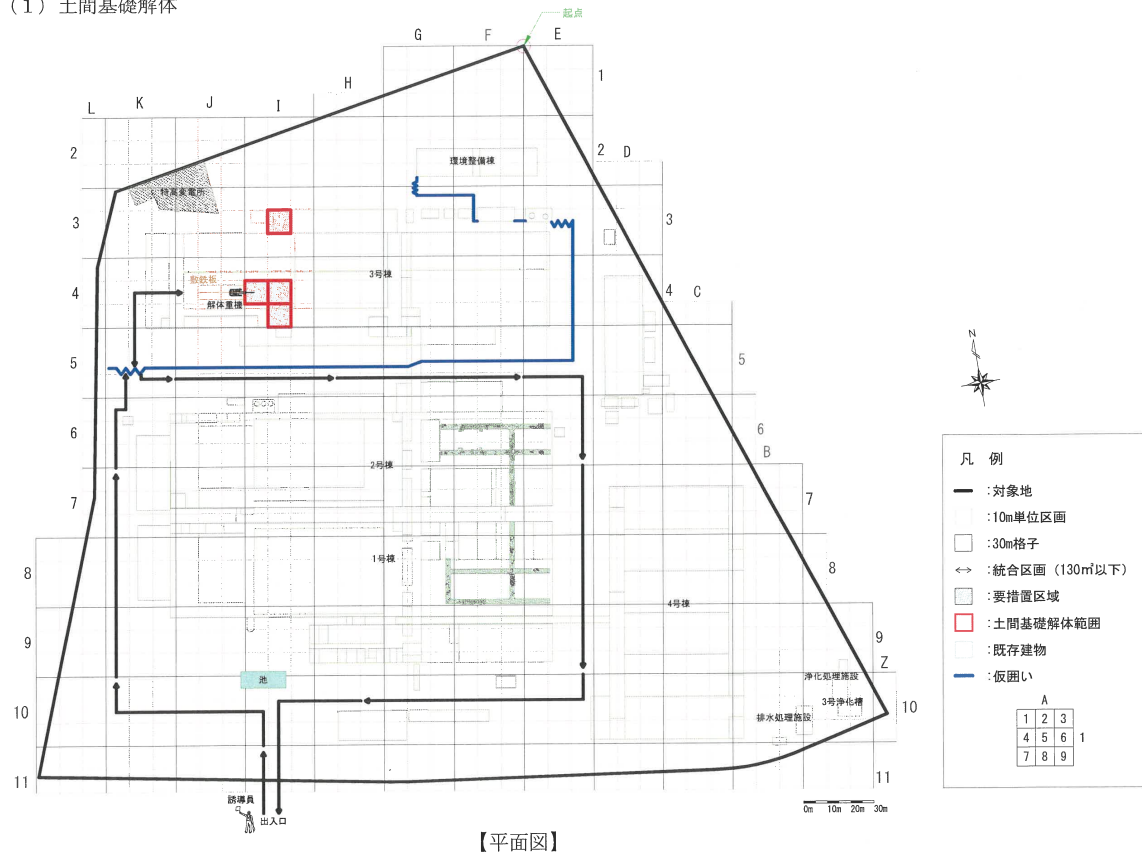
添付書類2 汚染状況を明らかにした図面

要措置区域の所在地：(地番) 栃木県下野市下坪山字栄 1724 番



添付書類 5 施行方法を明らかにした平面図・断面図

(1) 土間基礎解体

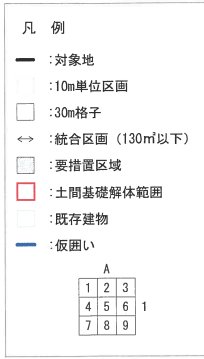


【施行方法】

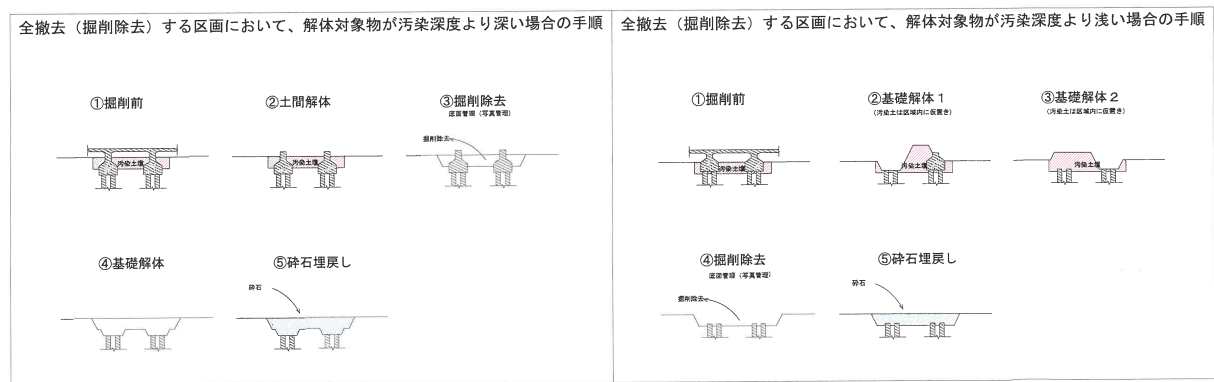
- ①土間基礎解体に支障となる範囲の土壌を掘削し、同一区画内に仮置きした。
- ②土間基礎撤去時は、汚染の拡散がないよう慎重に作業した。
(構造物に付着している土壌は汚染が拡散しないように同一区画で払い落とした)
- ③撤去した土間基礎は、産業廃棄物として適正に処理した。

【環境保全対策】

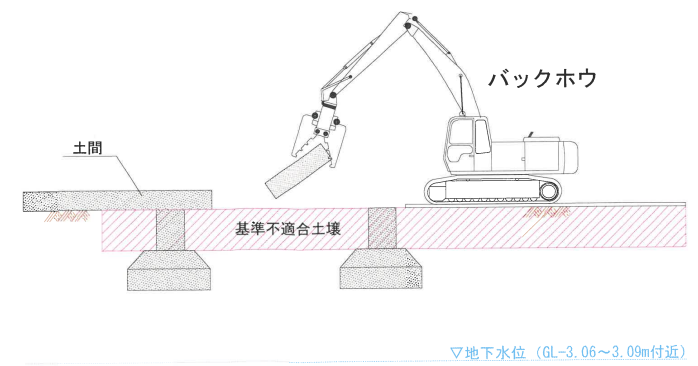
- ①土壌の掘削作業中、飛散のおそれがある場合は適宜散水及びシート養生を行った。
- ②仮置きした土壌が飛散のおそれがある場合は、適時散水及びシート養生を行った。
- ③撤去した構造物もしくは舗装版に土壌が付着している場合は、同一区画内で土壌を払い落とした。
- ④重機足元には汚染土壌拡散防止として、敷鉄板を敷設した。



【平面図】

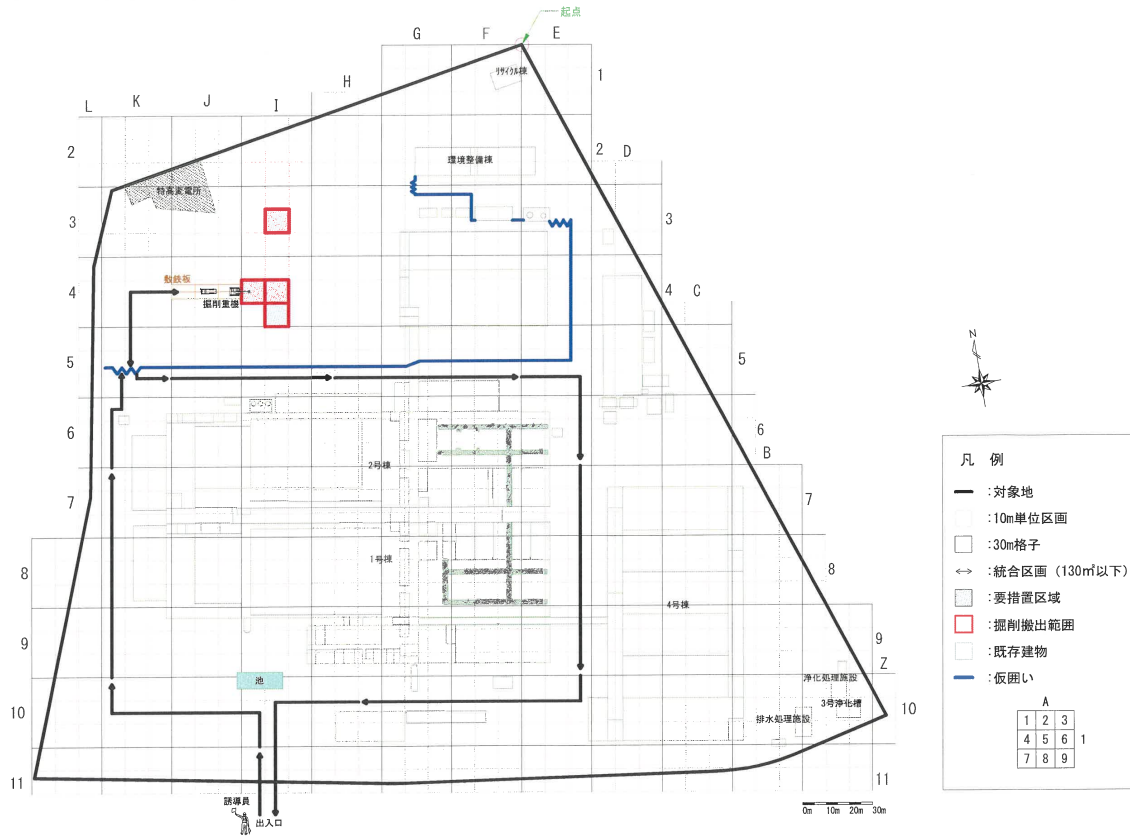


【概略図】

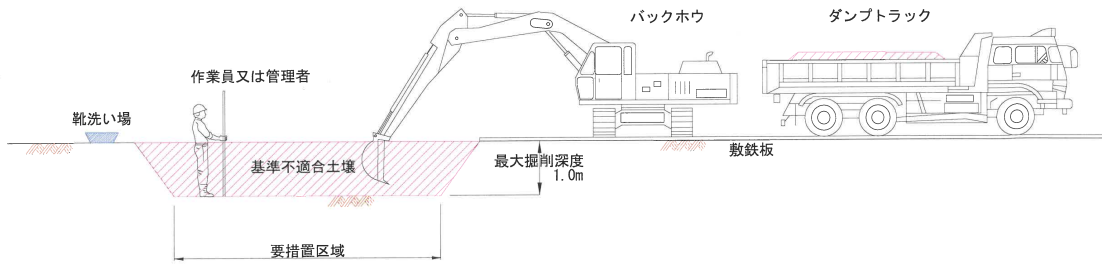


【断面図】

(2) 汚染土壌の掘削、埋戻し



【平面図】

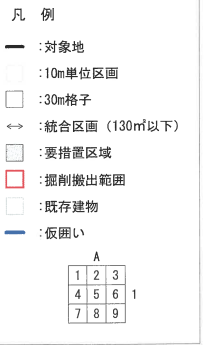


▽地下水位 (GL-3.06~3.09m付近)

【断面図】

【土量表】

区画名	区画面積 (m ²)	汚染物質名	対策深度 (GL - m)	実施対策層厚(m)	掘削土量 (m ³)	控除数量 (m ³)	搬出土量 (m ³)
I3-5	100.000	ふっ素(溶出量)	0.000 ~ 1.000	1.065	106.500	13.275	93.225
I4-4	100.000	ふっ素(溶出量)	0.000 ~ 1.000	1.002	100.200	0.650	99.550
I4-5	100.000	ふっ素(溶出量)	0.000 ~ 1.000	1.013	101.300	0.387	100.913
I4-8	100.000	ふっ素(溶出量)	0.000 ~ 1.000	1.130	113.000	13.797	99.203
合計	400.000				421.000	28.109	392.891



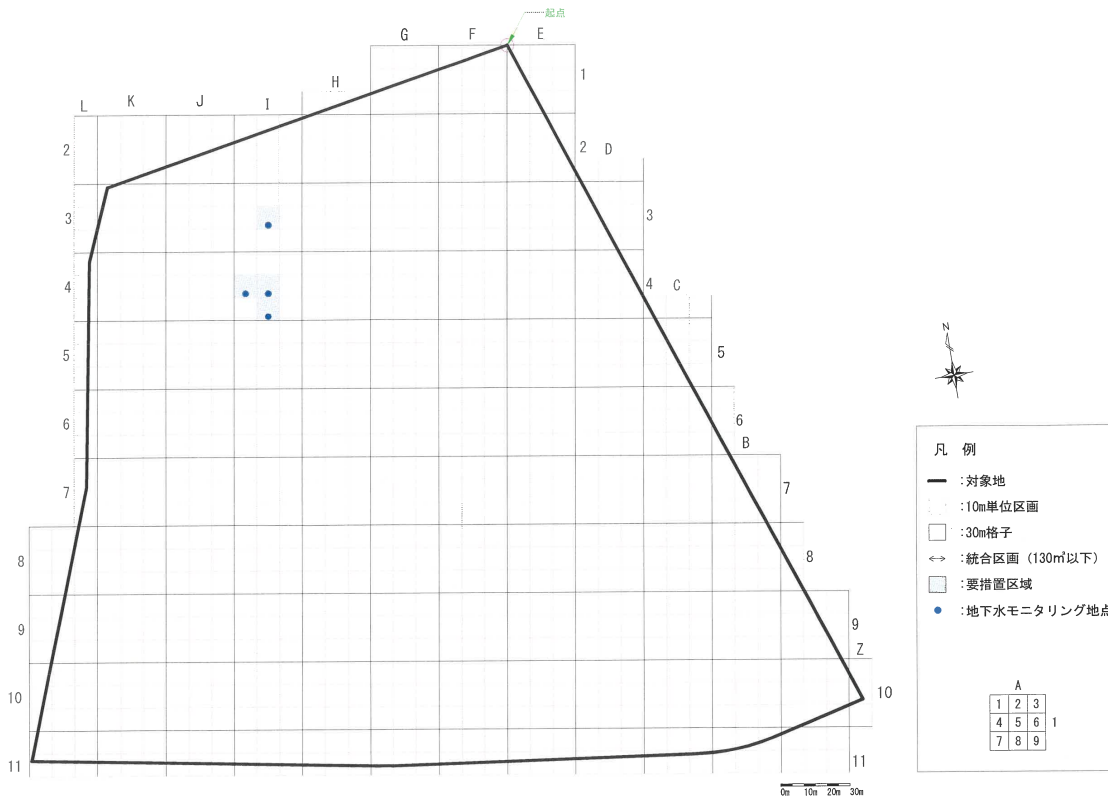
【施行内容】

- ①汚染土壌を掘削し、ダンプトラックに直接積み込みを行った。
- ②完了確認は掘削範囲（幅）及び掘削深度（深さ）を測量、写真等により確認した。
- ③埋戻しは事前に法で定められている特定有害物質全 26 項目を分析し、基準に適合していることを確認した砕石を使用した。分析検体数は、平成 31 年環境省告示第 6 号による品質管理に基づき、900m³に 1 検体の割合とした。
- ④対策深度が深となる構造物の撤去は汚染土壌の掘削完了後に実施した。

【環境保全対策】

- ①区域指定の区画に立ち入った者は区画を出る際には靴底の土壌を払い落とし、汚染の拡散防止を行った。
- ②汚染土壌の拡散を防止するため、散水設備、敷鉄板の設置、ダンプトラック周辺の養生シート、運搬時のシート養生を実施した。

(3) 地下水モニタリング



【平面図】

【地下水モニタリング結果】

区画	対象物質	地下水基準 (mg/L)	分析結果 (mg/L)
I3-5	ふっ素	0.8 以下	<0.08
I4-4	ふっ素	0.8 以下	<0.08
I4-5	ふっ素	0.8 以下	<0.08
I4-8	ふっ素	0.8 以下	<0.08

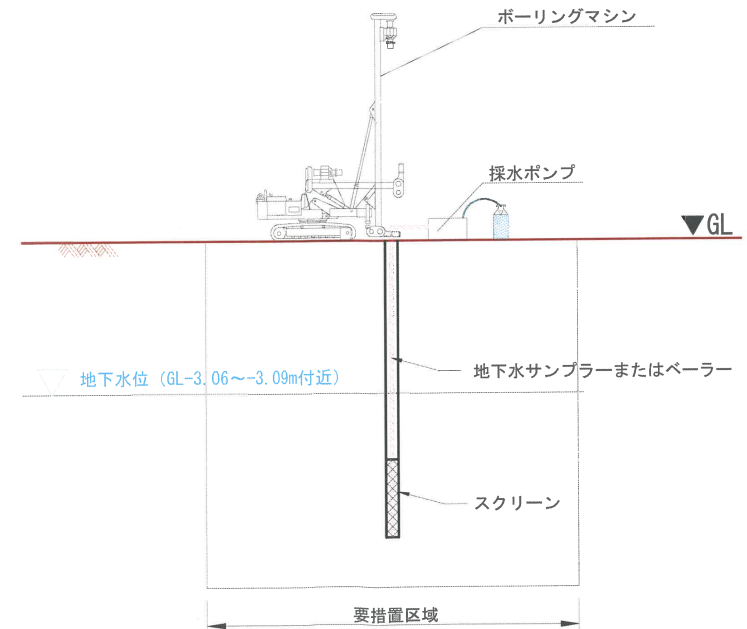
<0.08 定量下限値未満を示す

【施行内容】

- ①汚染土壌掘削完了後、土壌溶出量基準を超過している物質を対象に地下水調査を行い、掘削に伴う汚染拡散がないことを確認した。
- ②採取は地下水観測井戸を設置して行った。
- ③採取に当たっては事前に井戸内の3~5倍の地下水をくみ上げた後に行った。
- ④採取した地下水は速やかに分析機関に送り分析を行った。

【環境保全対策】

- ①採取用のホース及びペーラーは区画ごとに使い捨てとし、コンタミネーションが起これないようにした。
- ②パージ水は保管し、地下水の分析結果を確認後に適正に処分した。



【断面図】